



議会だより



(喜茂別保育所 春のおさんぽ)

●令和7年第1回定例会

もくじ

審議された議案と結果	P 2
議案の審議要旨	P 4
総括質疑	P 4
予算特別委員会	P 16
総務常任委員会	P 26
議会の動き	P 28
編集後記	P 28

第194号

令和7年6月

発行／喜茂別町議会
編集／議会広報編集委員会

令和7年第1回定例会（3月12日～3月18日）

<令和7年度予算>

一般会計	総額 31億5,358万7千円	原案可決	予算特別委員会 16ページ
国民健康保険特別会計	総額 7,499万2千円	原案可決	
後期高齢者医療特別会計	総額 4,460万2千円	原案可決	
簡易水道事業会計	【収益的収入及び支出】 収入 1億2,743万4千円 支出 1億2,772万3千円 【資本的収入及び支出】 収入 2,305万9千円 支出 4,839万4千円	原案可決	
下水道事業会計	【収益的収入及び支出】 収入 1億5,699万1千円 支出 1億5,928万3千円 【資本的収入及び支出】 収入 5,359万円 支出 9,895万円	原案可決	

<人事>

副町長の選任	河田 紀一 氏（任期：R7. 4. 1～R11. 3.31）	原案同意
教育委員会委員の任命	佐々木義則 氏（任期：R7. 4. 1～R11. 3.31）	原案同意
固定資産評価審査委員会委員の選任	増村 弘明 氏（任期：R7. 5. 9～R10. 5.8）	原案同意

<総合計画>

第7次喜茂別町総合計画に係る基本構想及び基本計画の議決	自律的で持続可能な社会の創出をめざす「第3期喜茂別町総合戦略」と一体をなす計画として、推進する	原案可決	質問あり 4ページ
-----------------------------	---	------	--------------

<条例廃止>

喜茂別町介護サービス事業特別会計条例	喜茂別町デイサービスセンター事業終了に伴い廃止	原案可決
--------------------	-------------------------	------

<条例改正>

喜茂別町定住促進基本条例	効力期限削除、子育て応援祝い事業の給付額増額	原案可決
喜茂別町立診療所の設置及び管理に関する条例	診断書等の交付に係る書類及び手数料の額を、社会情勢や町立診療所の運営実態に基づくものに整理	原案可決
国民健康保険税条例	市町村標準保険税率に基づき見直し	原案可決
職員の給与に関する条例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い改正	原案可決
喜茂別町表彰条例	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴い改正	原案可決
職員の旅費に関する条例	宿泊料金を9千円から1万円に改める	原案可決
育児・介護休業法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充や介護離職防止のための仕事と介護の両立支援制度の強化	原案可決
デジタル社会形成基本法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	行政手続における個人情報を識別するための番号の利用等に関する法律の一部改正に伴い改正	原案可決
地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	地方自治法の改正に伴う条ずれ改正	原案可決
喜茂別町水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理資格基準を定める条例	布設工事管理者及び水道技術管理者の資格要件の見直しに伴い改正、学歴及び学科要件における土木工学科以外の課程の追加や、実務経験年数見直し	原案可決

<計画変更>

喜茂別町過疎地域持続的発展市町村計画	事業内容に有害鳥獣処理施設整備事業、配食サービス事業、農村環境改善センター改修事業などを追加	原案可決
--------------------	--	------

<指定管理者の指定>

喜茂別町公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例に基づく指定管理者の指定	施設名称：喜茂別町公園及び喜茂別町特産物直売センター 指定管理者：後志総合管理有限会社 指定期間：令和7年4月1日から令和10年3月31日		
--	---	--	--

<令和6年度補正予算>

一般会計（第14回）	ふるさと応援寄附金の増額、胆振線代替バス路線維持費補助金の計上など227万円の増額	原案可決
国民健康保険特別会計（第3回）	後志広域連合分賦金の確定により1,474万円の減額	原案可決
介護サービス事業特別会計（第1回）	居宅介護サービス費収入の見込みによる増額と財源調整により125万円の減額	原案可決
後期高齢者医療特別会計（第3回）	広域連合納付金、不用額による35万6千円の減額	原案可決
公共下水道事業特別会計（第4回）	事業費確定に伴う助成金の減額、不用額の減額などにより1,849万2千円の減額	原案可決

<発議案>

喜茂別町議会の個人情報の保護に関する条例の一部を改正する条例	内容：刑法の一部改正による文言修正、関係する法律の改正による条項ずれ等に伴い改正 提出者：小川議員 賛成者：岩部議員 山下議員	原案可決
--------------------------------	--	------

<意見案>

持続可能な社会保障制度の確立に向けた財源確保の措置を求める意見書	内容：医療、介護に適切な財源確保の措置を講ずるよう要望する 提出先：衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣等 提出者：岩部議員 賛成者：本久議員 山下議員	原案可決
----------------------------------	--	------

令和7年第1回臨時会（2月26日）

<令和6年度補正予算>

一般会計（第10回）	中山峠燃料費の増額、重油仮設タンク設置工事費用等370万円増額（専決処分）	原案承認
一般会計（第11回）	除雪トラックの修繕料112万5千円増額（専決処分）	原案承認
一般会計（第12回）	全国中学校スキー大会、出場経費として53万円増額（専決処分）	原案承認
一般会計（第13回）	住民税非課税世帯等支援給付金、住民税非課税世帯支援給付金（子ども加算分）、特別定額給付金システム改修業務委託料など1,308万2千円増額	原案可決

令和7年第2回臨時会（4月8日）

<令和6年度補正予算>

一般会計（第15回）	除排雪業務委託料減額、総務費において令和7年度に繰り越す経費の組み替えなどにより2,198万3千円減額（専決処分）	原案承認
------------	---	------

<条例改正>

町税条例	公示伝達について、インターネットを用いる方法の定義、住民税の所得控除に特定親族特定控除額を追加、軽自動車税種別割の税区分などの改正	原案可決
国民健康保険税条例	地方税法施行令及び国有資産等所在市町村交付金法施行令の改正によるもの	原案可決

<令和7年度補正予算>

一般会計（第1回）	中山峠重油配管布設替工事により42万4千円増額	原案可決
-----------	-------------------------	------

議案の審議要旨

第1回定例会 3月12日

第7次喜茂別町総合計画に係る基本構想及び基本計画の議決を求めることについて

小川議員

「魅力的な中心市街地の環境整備を通じて賑わいを創出します」とあるが、魅力的な中心市街地の環境整備とはどのようなものを想定しているのか。

また、商工会会員数が現状値が令和5年度113会員、目標値が令和11年度120会員と増加を目標に書かれているが、達成するために町としてはどのような支援や考えを持っているのか。

総括質疑

3月17日

※総括質疑とは新年度の予算案及び町政執行方針に対し、主に政策に対して総括的に質問するものです。

本久議員

Uターンを希望する元住民の方々はこれまでのつながりや経験を活かしながら、地域に根差した生活を続けやすい層であると考え

る。このため、Uターン希望者への支援は重要だと思うが、町長はどのように考えているのか伺う。

林町長

Uターン人口は元々本町にいた方で、町を知って愛している。

この度、定住促進基本条例を議決していたのだが、Uターンの部分も含まれており、拡大していくとなれば、皆様方と審議しながら進めてまいりたい。

本久議員

窓口の設置も検討しているのか。

林町長

今の窓口は、定住人口の増加を図るまちづくり振興課だが、課一体となって、そういう話があれば進めていきたい。

井原まちづくり振興課長

魅力的な中心市街地の環境整備については、郷の駅周辺であるが、町有地の環境整備を考えている。

2つ目の商工会会員数について、審議会の委員からも新規就業とか、そういった方々をなるべく商工会に薦めていくように促す方向と、審議委員からも意気込みが感じられるような、ご意見いただいたので、引き続き商工会と連携して取り組んでいきたい。

本久議員

執行方針に「羊蹄山周辺を舞台とした世界的に有名なゲームソフトの発表・発売を受け、観光客の情報収集に努める」とあるが、具体的にどのような方法で情報収集を行う予定か。

また「羊蹄山をはじめとする景観を観光資源として活用する」とあるが、具体的にはどのように活用する予定か。

さらに「効果的に発信する方法等を検討する」とあるが、現時点でどのような方法を想定しているのか伺う。

林町長

まず、ゲームソフトは発売日も含め不確定な要素が多いため、前作の舞台となった対馬の事例などから情報収集していきたい。

また、景観としては神社や喜茂別川から見る羊蹄山が素晴らしいので、できるだけ町の中に観光客を呼び込んで、町の活性化になるように努めてまいりたい。

それから、現在河川整備として浄化センターのあたりから木の伐採をして景観を整えているが、だんだん町の方に向かって整備し

て、町の中で観光スポットにしていきたい。さらに、郷の駅、道の駅にこのポスターを貼るため、著作権があるソニーとの提携も含め発信してまいりたい。

本久議員

では、尻別川のところに新たなフォトスポットのような観光名所を作るのか。

林町長

現在は、お金を使わずにどれだけやれるか考えているが、郷の駅周辺については再整備が必要であれば考えていきたい。



▲河川公園と羊蹄山

本久議員

建設業や運送業では深刻な人材不足が続いており、企業努力だけでは人材確保が困難な状況にある。

他自治体では地域おこし協力隊を活用し、人材確保につなげている例もあるが、本町として、協力隊の仕組みを活用して人材確保に取り組む考えがあるのか伺う。

林町長

美幌町ではバス運転手への協力隊派遣の事例もあるので、総務省とも検討しながら制度を活用できるのであれば行ってまいりたい。

本久議員

鈴川駐在所と喜茂別駐在所が統廃合され、駐在型交番となるにあたって、新たな交番を建設する予定や、道警と具体的な協議などは行っているのか伺う。

林町長

北海道警察においては、今の場所ではなく、国道か道道、流雪溝があるところに新たな交番を建て、今の交番を撤去するという計画はあるようだが、どこに建てるかなどはまだ聞いていない。

本久議員

町立診療所の運営について、令和7年度末で現在の指定管理期間が終了するが、現指定管理者との契約を更新する方向で検討しているのか。

また、現在金曜日はオンライン診療となっているが、町民の評価や満足度について町として把握しているのか伺う。

林町長

今の指定管理者とお話をしながら、医療崩壊が起らないように、医療体制、委託金額を含め今後について慎重に協議してまいりたい。

オンラインによる診療は嫌だ、お医者様を増やせばよいという話もよく聞かすが、1名医者を増やすと最低でも月100万円経費が増える。

本久議員

デイサービス事業について、執行方針に「数年にわたり喜茂別町社会福祉協議会と検討・協議を進めてきた」とあるが、具体的にどのような検討・協議が行われてきたのか。

また、社会福祉協議会への委託を終了する決断に至った経緯について伺う。

林町長

本町のデイサービスは平成12年に直営で開始し、社協に委託して運営してきた。

しかし、近年の介護報酬引き下げや加算取得の困難さ、人口減少・財政悪化を背景に、社協と数年協議を重ねたが、体制上サービスの質向上や経費削減が難しいとの回答を受け、民間事業者の活用を視野に委託終了の判断に至った。

本久議員

令和7年4月から町のデイサービスが終了

し、社会福祉法人溪仁会が運営する「るすつ銀河の杜デイサービスセンター」に移行するとされている。

現在、利用者が施設を視察していると伺っているが、実際に視察に参加した利用者の具体的な反応や感想はどのようなものだったのか伺う。

林町長

3月10日から14日にかけて希望者17名が銀河の杜を見学した。

参加者からは「不安だったが広く綺麗で安心した」「作品づくりが楽しみ」「知人に会えると聞き嬉しかった」といった前向きな感想が寄せられた。

本久議員

ふるさと納税について、執行方針に「協力事業者の新規開拓と返礼品の充実に取り組む」とあるが、現在、新たに決定している協力事業者や返礼品はあるのか。

2点目として、観光客が集まる場所でのPRポスター掲示は有効と考えるが、作成や掲示は可能か、また、今後そうした取り組みを検討していく余地はあるのか伺う。

林町長

今後は蜂蜜など新たな返礼品を申請中で、クレードル興農の加工拡大も期待される。

PRポスターの掲示についても、郷の駅や公共施設での活用を前向きに検討していく。

越後議員

最近ではこの町に多大なる貢献をしていたいただいた飲食店が立て続けに廃業するなど、どんどん商売をする人がいなくなっている。

町として、誰かがご飯屋さんをしてくれるのを待っている状況ではなく、町から呼びかけていくことも必要な時期に来ていると感じている。

現状、そしてこれからどうしていくことが本町にとっていいのか町長に伺いたい。

林町長

実際に空き家になった時にどのようにするかということは、今は考えていないが、協力隊だとか新規に起業したい方については、募

集していかなければならないと考えている。

今すぐどのようにするかという考えはないが、これからも商工会と意見を交わらせながら、補助金の活用だとか検討していく。

越後委員

執行方針に「協力隊員が長く地域で活躍できるように」とあるが、すぐに協力隊を辞めてしまう人が多い現状であると私は感じている。

つい最近も隊員がやめてしまうということがあった。

何か悩みや相談事がある時の窓口、サポート体制というのはどのようになっているのか。

林町長

補助金制度の中でチャレンジを応援することはできるが、隊員の全てに国の補助金を当てていくことは難しい状況であり、町の単独費を上乗せすることも困難のため、町を批判して去っていく方もいる。

制度として、地域おこし協力隊と対話だとか要望だとか希望を把握しながら、町との間に入って定住につなげていく業務があるので、これからもやっていただき、できるだけ定住促進に努めてまいりたい。

越後議員

協力隊サポート委員会などを作って、委員に相談できるようなシステムにしていく体制等が必要だと思う。

役場職員だけでなく、10人ぐらいの体制で、協力隊に対してはやってほしいと思うがどうか。

林町長

10人とは言わないが、町、商工会、観光協会と手を組み、サポート的な委員会を作ることとは全然問題ないと思う。

できるだけ定住していただくのが目標なので、そのような体制をとって参りたい。

越後議員

災害が起こったときに、IP電話などでお知らせすると思うが、現在、町内でIP電話を取り付けられている家は何件あるのか。

そして、IP電話以外の災害情報の伝達方法はどのような方法があるか。

林町長

IP告知端末の設置数は470件である。災害発生時、住民への告知としてはIP告知端末、携帯電話のJCスマートアプリ、町ホームページ、広報車、あらゆる手段を使って情報伝達をしてみたい。

越後議員

現在、本町には1,170件ほどの家があり、しかもお年寄りが多く、スマホでの周知が難しいと感じている。

やはり、口頭で避難場所を伝えておく等のことが必要だと思っているがどうか。

林町長

自宅に訪問して「ここに避難してください」と防災監含め、説明してみたい。

越後議員

本町の救急車は8年目に突入し走行距離16万kmで既に入れ替え時期に来ている。

本来であればJAや損保から寄贈されて成り立っているところではあると思うが抽選のため寄贈されるかまだわからない。

もしも寄贈されないとすれば救急車はありませんじゃ済まない重要なものである。

本町として寄贈されないとすれば今後どのような対応をするのか伺いたい。

林町長

今まで損保会社だとか色々なところから寄贈されて、それを救急車用に改造している。

全道的、全国的にも救急車を町単独で買うことはかなり厳しい。

できるだけ、故障箇所を修理しながら寄贈してくれる状況を待つしかなく、町単独で購入することは今のところ考えていない。

越後議員

冬はリゾートへの救急要請が7割8割あるという私の認識であるが、例えば、加森観光の力を少し借りて、救急協力金などを出していただくことはできないか。

林町長

ルスツリゾートだけに、それを求めるということはちょっと難しいと考えているが、留寿都村も救急車を持つべきじゃないかと私は意見を言っているので、この辺も含め羊蹄山ろく消防組合に要望してみたい。

越後議員

本町でも外国人移住者、インバウンド需要が急増しているの、外国人に対応できる職員の採用を真剣に考える時期に来ていると思うが町長の考えを伺いたい。

林町長

英語が堪能な職員が2名おり、他の職員が困った時応援に行っている。

今後においては、職員を育てるまでは、翻訳機を利用しながら行ってみたい。

越後議員

町民から高齢者向けの公営住宅が不足しているのではないかという話をいただくことがある。

特に単身向けの住宅が不足しているように感じている。

最近除雪作業が大変なことから、家を高く売れるので、売却して公営住宅に入居したい高齢者が増えているが、考えを伺いたい。

林町長

一人で平屋に住みたいという要望を多く聞いているので、今後、住生活基本計画及び公営住宅等長寿命計画の中に盛り込んでいきたい。

越後議員

執行方針に「挨拶などを徹底させる」とあるが一部挨拶なんか程遠いなと感じる職員がいる。

あと町民が窓口に来た時に、ウロウロしていても何も対応しないと言っている町民もいる中で、職員をどう育成していくのか。

林町長

私も就任前に、随分職員の挨拶について、町長になった時には改善して欲しいという要

望を承った。

職員に対して、とにかく挨拶してどちらですかと声をかけることが大切という話しをする。

また、就任してすぐ住民課にテーブルを設け立って話をしないよう指導し、管理職会議で嚴重に周知しているがまだまだ足りないところがある。

どうしても公務員の勉強会ばかり研修に行っているが 民間の電話対応だとかマナーだとか、一度学ばせた方がいいと思っているので研修の中に盛り込んでいきたい。

越後議員

この度クレードルについて6億円かけて整備する計画が進んでいる。

予算投じるのであれば、昔トマトジュースがものすごく美味しかったが、復活させてくれないかという話をし、ふるさと納税の返礼品として、結びつけていってほしい。

そして本町の農家とも連携を深めて、ふるさと納税がどんどん増えていくのではないかと、思うが町長の考えを伺いたい。

林町長

改修計画については設備で4億円、建物の補修等で2億円、計6億円であった。

コーンの製造を拡大したいとのことだが、コーンだけでなくトマトジュースから小豆からできればワンセットにして、クレードル興農の返礼品だということでアピールしていければ年間1億5,000万円の目標にも達するのではないかと考えている。

農家との懇談会に行った時に言っていたのが、コーンハーベスターが古くなってきているということである。

コーンの製造を増やすために機械等の補助、国の補助も活用しながら、農家も支援して回らないと、工場が立派になっても生産量が追いつかなければ製品にならないので、その辺を含め農家と協議してまいりたい。



▲クレードル興農

越後議員

本町の役場庁舎は老朽化が進んでおり、大地震が来た時に、ここが災害対策本部になると思うと心配でならないが、建て替え移動も含めて町長の考えを伺いたい。

林町長

建物はもう63年になるが、コンクリートの寿命は約70年と聞いている。

7年度で2か所か3か所ほど、コンクリート密度の試験を行って、どれくらい人間で言えば骨粗鬆症になっているか判断したい。

ここはハザードマップで水没する地区なので、できるだけ場所と、いつ、どのような形で計画と面積だとか いろんな部分で町民とこの位置にしたらいんじゃないかとそういう話があればすすめていかなければいけないと考えている。

例えば小中一貫校で学校を建てるのであれば、かなりの補助金が入る。

そうすると今の中学校がどうなるということていくと地理的には水害にも強い。

ただ、左側は土砂警戒帯という話にもなってくる。

町内の中でどこがいいのか、今までやはり役場と言うと、こことか信金のところ、この町の、ここにあったというイメージがある。

場所が、かなり変わると、やっぱり不便がいろいろ出てくるということなので、その辺も含め、私のこの4年間の間で、実施まで行かなくても検討してまいりたい。



▲役場庁舎

山下議員

今回の総合計画を見ると子育て政策に力を入れていこうという姿勢を非常に感じる。

実際子育て応援祝い事業を拡充しており子育てにかかる経済的負担の軽減効果が、大いに期待できるのではないかと、思っている。

しかし、出産祝い金が3万円から5万円に増えたとしても、少子化対策に対しては、どの程度の効果があるかは分からない。

一方で、婚姻数は3件から5件に増えたとすれば、少子化対策にとって非常に大きな効果が期待できるのではないかと、思っている。

昨年の執行方針には、結婚という文字があったが今年はそれが見当たらない。

最近では結婚を支援する自治体も増えていますが、結婚への支援について町長の考えを伺いたい。

林町長

はるか昔、商工会と色々な部分で、マッチングということで私と同じぐらいの年齢の方々が結婚して、こちらに住まわれている。

そういうマッチングをできるのであれば、積極的に進めてまいりたい。

山下議員

私は12月定例会の一般質問で、本町における解体施設の重要度は上がっていると発言している。

その際、林町長の答弁では「食肉等の活用に関しては町よりも民間で取り組む方が望ましく必要に応じては支援なども考えることができる」と発言していた。

ところが今回の執行方針では「野生鳥獣の処理施設建設に向けて設計業務を実施する」とある。

この処理施設については、将来的に町が建設する方向で考えていると思うが、民間への補助ではなくて、町が直接建設する考えとなった理由を伺いたい。

林町長

私が就任してから猟友会関係だとか色々な地区の方々からの要望があり、補助事業を活用して作れるのであれば活用したいと答弁しているが、農水省で補助金2分の1出る事業があり、令和7年度で申請をしている。

現在考えているのが、建坪40坪で坪単価は100万円としたら約4,000万円、中の冷凍庫と資機材含め1,000万円を5,000万円を想定している。

そうすると約2,500万円は、農水省の補助金が活用できるのではないかと、思っている。

どうしても民間で作った場合、豊富な資金力で建てればよいが銀行関係だとかお金を借りて、万が一撤退したり売却したりした場合、その施設をどうするという話になる。

町として、処理施設を建設して猟友会なり加工会社とタッグを組み、町の施設を貸すことが、ベストではないかと考えている。

山下議員

この解体施設の運営をどこがやることを想定しているのか。

私は、猟の資格や解体の技術を持った地域おこし協力隊が2名、昨年度就任したので、この2名を中心に運営すると思っていた。

しかし、ごく最近1名が辞めたと聞いているので、この影響はどう考えているのかその2点について伺いたい。

林町長

2名から1名になったことに伴い、猟友会の会長が、積極的に鹿の処理を考えて、また余市の加工品会社も、タッグを組みたいと言っている。

ただ猟友会の皆さんは他に仕事もしており、施設の維持管理に対して町から委託をかけるということはかなり難しいと考えている。

できるだけ処理した後に加工・販売して、それをアピールできるところまであれば、そちらの方と猟友会と町と3者で提携を結んで貸して行って、長期的な駆除の体制を整えてまいりたい。

山下議員

「鈴川小学校校舎を含めた関連施設の利活用の検討については、地域住民との理解や協力を得ながら既存施設を活用する方向で検討する」と執行方針にあるが、現在、地域住民との間ではどのようなやり取りが交わされており、そして地域住民の結論はいつまでに出るのか。

近隣の廃校を見ていると時間が経てば経つほど、活用が難しくなるように感じられる。一刻も早く活用方法を決めて動く必要があると思うが町長の考えを伺いたい。

林町長

4月以降に、地域の人達と詰めてまいりたい。

今のところ、すぐ外国に売る、すぐIT企業が誘致できた、そういう話ではない。

阿部議員

墓地の環境整備について、官民の合同調査委員会の設置の要望があるが、町長の考え方を伺いたい。

林町長

双葉墓地は令和6年8月に地域の皆様にご協力いただき現地調査を実施し、敷地外で1基墓石が見つかり、この親戚の方を探してお聞きしたところ墓じまいが済んでいるということであった。

栄墓地については11月に現地調査を実施し、隣接する土地に共同のお墓があった。

山奥で再び管理ができなくなってくるので令和7年度においては、地区の皆様など、官民一体となった検討委員会を設け、できるだけ早い機会に移設が必要なのか共同埋設が必要となるか、検討してまいりたい。

阿部議員

「本年度から保護者の負担軽減を目的とした、学校給食の2分の1補助を実施してまい

ります」とある。

一方で先週の新聞報道によると、国の方針では令和8年度から小学校・中学校の給食の無償化と明記されている。

この2分の1補助については、単年度限りの事業という理解でよろしいか。

細田教育長

今回国の動きはまだ決定はしていないが、令和8年度まず小学校で、中学校は時期的なものもまだ明確にはなっていないので当面の間は本町としては保護者負担の軽減として2分の1は行っていくという考え方でいる。

岩部議員

国の物価高騰対策対応重点支援地方創生臨時交付金によるプレミアム商品券発行事業はとても良いことだと思っている。

景気回復には消費税をなくすことが良いと思うが、せめて食料品にかかる消費税は廃止しガソリン暫定税率の早期撤廃をしてもらうよう国に働きかけてほしいと思っている。

町民の生活にとって重要な物価、燃料費高騰における町が取りうる施策について町長の考え方を伺う。

林町長

この交付金については、酪農業、観光業、福祉施設・医療関係に重点的に当てていきたいと思っている。

商工会ともお話しして昨年までの1万円を1万5,000円にはならないが、1万円を1万3,000円で販売して頂けるということである。

700セットであるが、それを今度はまた秋になるが購入していただいて、是非お米や燃料や食料品に関して使っていただきたい。

また、消費税など色々な目的税の廃止に向かって、代議士の先生、道議の方々も含め、できるだけ町民の負担にならないように国や北海道に要望してまいりたい。

岩部議員

今年3月末にて鈴川駐在所が廃止となり、鈴川・双葉・御園方面の住民にとって不安は拭いきれないものがあると感じている。

住民の安心安全に向けた考え方について町長の考えを伺いたい。

林町長

鈴川駐在所の廃止に伴い、地区の住民からかなり要望を承っている。

その中で、お子様方がスクールバスで来た時、帰りに暗くなって、被害に遭われたり怪我をされたら困るということだったので鈴川のセンターの中に防犯カメラを設置した。

また、人が来た時にすぐ電気がつくように人感センサーに替え、バスが乗り降りするところに新たに街路灯をつけ、防犯対策として子供が通るところ、角地でちょっと暗かったので2機街路灯を設置した。

その後も、276号線はかなりスピード出している車があるので大型の防犯カメラを一機設置した。

スピード違反をしないように、また犯罪が起きないように看板等も掲げながら、町民の方々々と相談しながらどのような対策がいいのか集まっていたいただき検討してまいりたい。



▲鈴川駐在所閉所式

岩部議員

近い将来、本町も町村合併による行政の効率化も必要になってくるものと考えているが、町長の広域連携についての考えを伺いたい。

林町長

今すぐ合併という話にはならないが、できるだけ近くにある施設を使わせていただいてお互いに利益になるような関係を持って進んでまいりたい。

菊地議員

私はこれまで議会の場でその時々町長に幾度となく本町の財政の健全化に対する考え方について質問させていただいたが、改めて今後における財政の健全化に対する考え方について伺いたい。

林町長

今後の財政の見通しについて作成させたところ、令和11年度では財政調整基金がマイナスになる予定である。

61名の職員定数が今回57名になるが、53名ぐらいにしていかなければならないと思っており、その中では今後各課の統廃合含め仕事の内容を把握して進めてまいりたい。

それでも財政が良くならないのであれば、除雪や水道料金やIT関係の委託費などにもメスを入れなければいけないと思っている。

菊地議員

最近、宿泊施設の建設が相次いでいるとの話を聞いているが、ニセコ周辺の地価が上昇している現状を鑑みた時、今後も本町の宿泊施設の増加傾向が続くことが予想される。

そこで今後、本町の宿泊税の導入について町長はどのように考えているのか伺いたい。

林町長

本町においては今大きな宿泊施設はないが、民泊が増えてきており、今後も事業者が増える可能性が高い状況にある。

宿泊施設が増えてから、また大きな宿泊施設ができてから導入を検討した場合に意見の集約に時間を要すると思う。

既に簡易宿泊業を行っている商工会や商工会員の皆様の意見を聞き、いつ、どのように導入をするのか決定してまいりたい。

菊地議員

本町の人口減対策として定住促進条例が平成14年に制定され、10年にわたって関連事業を行い、その後、本条例が廃止され新たに平成24年に現在の定住促進基本条例が制定され施行されている。

本事業が長期間にわたって実施されてきたことを考えた時、今一度、原点に立ち返って

今日まで行ってきた各事業に対する検証を行う必要があるのではないかと。

林町長

この基本条例にないもので町民やUターンをする方が望んでいる項目があるのであれば、毎年見直すものは見直す。

小川議員

令和7年度の町政執行方針は林町長にとって初めてだと思うが、どのような思いを込めて作られたのか。

林町長

令和6年度は、財政調整基金が1億8,000万円、目的基金まで含めると2億4,000万円計上されており、これをどう削って財政を健全化するかということであった。

ゼロカーボン推進事業、環境省の事業9億3,000万円を一時凍結して補助金の返還などをやってきた。

できるだけお金を使わないように皆さんの知恵を絞りながらやっていきたいという思いで書いたつもりである。

小川議員

第7次喜茂別町総合計画には各項目ごとに5年後の目標数値が書かれていたが、達成するのは、なかなか難しいこともあると思ったが、達成に向けてどのように動いていくのか。

林町長

目標値は高めに設定しており、達成できない可能性もあるかもしれないが、職員も長い間、同じ課にいて今まで行政運営が進まなかったと考えているので、4月1日には異動させて新たな考えを持って、進めていきたい。

小川議員

「女性や若者のまちづくりへの参加の取り組みを行います」と執行方針に書かれているが、町長が思い描く若者のまちづくりというのはどのようなものか伺いたい。

林町長

若者と女性には私どもにない知識と経験がある。

例えばこの度のゴースト・オブ・ヨウテイについても私は全く知らなかった。

しかし、役場の職員が、こういうものがあると、私たち60代の人間にも教えてくれている。

このように、若い人たちに活性化されることが望ましいので、テコ入れしたい。

小川議員

執行方針に町内の健康に関して地域活性化起業人を活用して参りたいと書かれている。

過去にも数名この制度で来ており、限られた期間で結果を残すのは、困難なことではあると理解しているが、今回の地域活性化企業人にどのような効果を期待しているのか。

林町長

今回の地域活性化起業人制度において、医療介護データ、健診結果等から本町の健康課題の深堀りを行うとともに健康脳測定会などイベントの開催により、町民の健康状態の把握を進める。

日下議員

(総合計画について)昔は、住民も職員もわかるように、例えばこの目標値を達成するために、1年目、2年目、3年目は何をすること、実施計画を立てていたと思う。

今回は、実施計画的なものは立てないが、年度年度の予算で、議会に対して提示して、それをもって目標値を3年後、5年後に達成していくという考えでよろしいか。

林町長

1年おきに、その目標値に向かって、実施計画まで行かなくても議会に説明しながら、丹念に実施に向かってまいりたい。



▲喜茂別小学校入学式

日下議員

小中一貫教育のあり方について、この1年間、教育委員会内部、教育委員も含めて、どのような議論をされていたのか。

細田教育長

学校教育を取り巻く状況について理解を深めるということで、定例の教育委員会議だけでなく、協議会も開いている。

その中で様々な教育課題について議論を深め、制度的な勉強会も行ってきている。

また、先進的に取り組まれている比布町の教育長を招いての研修会に参加している。

日下議員

実際進めていくとなると、予算が伴ってくるが、財政厳しい中で、小中一貫校に取り組むことについて町長はどういう考えでいるか。

林町長

財政が厳しい中ではあるが、この少子化では、小中一貫校を行うことが望ましいと思っている。

日下議員

全国色々な学校があって、子供たちが、あまり地域とか場所によって教育受ける内容に差があるというのはいかなるものかと思う。

しかし、学習指導要領で細かい指示があった時に、はたしてその町村独自の教育がきちんと担保されているかどうか疑問に感じている。

教育長としてはどのような考えをお持ちか。

細田教育長

学習指導要領で定めている内容については、学校において教えなければならないということになる。

ただし、各町村様々な環境がある中で、独自性、特徴的な教育というものを私は大事だと思っている。

例えば、その地域の歴史や文化をその中に織り交ぜながら学んでいくことが大事だろうと思っているので、令和4年に導入したコミュニティスクールにおいては、地域の方々

に学校に来ていただいて、授業するという場面も多くなってきた。



▲喜茂別中学校入学式

日下議員

執行方針に230号線、276号線の老朽箇所の補修や改修について、危険なカーブやトンネルなどの線形改良を国に要望していくと述べられているが、どのような要望をされていく考えなのか。

林町長

まず230号線について、2年連続5月の繁忙期に土砂崩れが起きて、通行止めになり、通過型の本町としては大痛手を受けた。

230号線ができてから、既に50年近く経ってきている。

あらゆるところの法面が崩れたり、あらゆるトンネルの壁面が老朽化してきているので、道を変えたり、トンネルを作っていかなければならない。

本町、留寿都、洞爺に向かう大きな道路としては、この1本なので、早急に国やいろいろな先生方に陳情してまいりたい。

276号線の美笛峠もまた、地滑りや、色々な箇所が削れてきている。

事故の多いカーブや鹿が出てきて危険ということもあるため、線形の他に、交通安全対策も、国に要望したい。

日下議員

菅原町長の時代に、西胆振と札幌市南区定山溪の広域連携の集まりがあり、そこで中山峠のトンネル化も含めた中でいろいろ議論し

たが今はそういう組織がない。

この取り組み方について町長はどういう考えを持って臨むのか。

林町長

国道であっても、札幌市の負担もあるので、札幌市がうんと言わなければ進んでいかない。

これからは札幌市と連携を取りながら進めてまいりたい。

早めに話をしないと、計画にも載ってないものを、本町だけが騒いでも、なかなか実現しない。

日下議員

昨年、本町と留寿都の民間の有志の方で230号線のトンネル化に対して意見交換の場を設けていると聞いている。

民間と行政が連携しながら国、札幌市に対して要望していただくという手法を取らなければ、一步も進んでいかないと思っているが町長の考えを伺いたい。

林町長

私も職員として何度も国だとか色々なところに要望に行ってきた。

その中で、町長が言ってもなかなか予算がつかないが、地区の代表者が言ったら、随分親身になって考えてもらっているところを目の当たりしてきた。

そのように、各団体だとか民間の力を使って要望していくことが一番近い道だと考えている。

日下議員

中山峠観光施設、老朽化して、大規模修繕や、解体するには予算がかかるので、直前になってから検討するのは遅いと思っている。

今後、そういうことも見込みながら、中山峠については、どういう方向性で行くか考える時期に来ていると思うが、町長の考えを伺いたい。

林町長

トンネルも要望しているのに中山峠も維持する、両方は無理な話である。

皆さんのご意見を聞きながら、いろんな部分で進めてまいりたい。

日下議員

どこかで決断が必要だと思う。

大規模修繕か、新たに建て直すか、撤去するか、いずれにしても、大きな支出を伴うのに、決まってから、それを財源措置できるのかという問題がある。

色々な修繕費がかかるが、今、加森観光から賃貸料をいただいております、まだ少し残る状態だと私は認識している。

その残っているお金を、目的基金として積み立て、決断された時にかかる費用に当てべきだと思うが、この目的基金を積むということについての考え方を伺いたい。

林町長

目的基金で建設準備を積み立てるということは基本である。

ただ、財政調整基金を取り崩して行政運営をやっているといけないう状況である。

もう少し、その辺を踏まえ、目的基金に積めない状況だとご理解いただければと思う。

日下議員

社会福祉協議会の収支見た時に、デイサービスの比率がかなり大きなものだったと思っている。

その事業がなくなることによって倒産状態になる気がするので、町はどのような認識を持っているのか。

そういう状況に対してどういう対応しているのか。

林町長

社会福祉協議会の令和6年3月31日現在の預貯金は132万円であり、定期預金が100万円となっている。

古い時代の方に聞いたら 定期預金は2,000万円近くあったと聞いているが、目的基金の福祉積立資産については276万円で、民間企業であれば令和7年度に倒産にあると私は考えていた。

私としては、町の社会福祉協議会自体を守らないといけないうことで、デイサービスを違うところでやった時に、本体に対して補助金を増額する。

ただ、デイサービスをやめて職員を何名に

してどのようにやるか。

私としては社協自体は昔のように、正職員が2名で、役場という会計年度任用職員が1名程度で、3名程度できると考えている。

人件費を抑えて運営していただかなければ、なかなか社協本体の回復は向かわないと思っている。

6月以降にふれあい福祉センターに元気応援課を移動して、社協と距離を縮めて、事業の部分についていろいろ進めてまいりたい。

社協に対して、補助金など、厳密にチェックして、きちんと指導してまいりたい。

日下議員

財政の健全化について定数削減だけじゃなくて、他のことも含めて再度町長の考え方をお示しいただきたい。

林町長

除雪費や水道料金や公共施設の料金改正などの経費の節減、また宿泊税などの自主財源の確保に努め、総合的に判断しながら運営してまいりたい。

日下議員

町長の答弁では中山峠の施設の老朽化について、一般会計が苦しいので積み立てはできないということだが、相当厳しいから今からやらなければならない。

もう一度町長に考え方を聞きたい。

林町長

目的基金に積むことは問題ないが、財政調整基金が11年に枯渇するということである。

目的基金積んでも財調がなくなった場合、目的基金を利用するというやり方もできる。

ただ、4,000万円の賃料で本当にいくら積めるのかといった時に、今の状況でいくと積みまで収支のバランスがいかない。

目的基金に積めるかという、今そういう状況にない。

日下議員

現実問題として積立できるかできないかを別にして、間違いなく億単位でかかる。

今から財政健全化計画を早く立てるべきだと思うがどう考えているか。

林町長

全体的に、水道料金、下水道料金、公共施設使用料、除雪、色々な部分で皆さん方とご議論しながら、財政が破綻する前に、財政の健全化について計画を考えたい。

日下議員

1町村で行財政改革ができないのであれば、共同の事務事業とか施設の整備については広域でやるべきだと思っているが、そのあたりについて町長はどう思うか。

林町長

今まで、厚生病院や消防など色々な部分でやってきた。

大きな施設を建てる時に、小さな本町の負担金が多くなることはできるだけ避けて参りたいと考えているが、事務レベルで集まってできるものについては積極的に参加して参りたい。

日下議員

広域連携が駄目だという人はいないが、総論賛成だけ具体的な協議の場所がないと思っている。

私は早急に、首長、議会でも広域連携をするかしないかも含め議論する時期に来ていると思うが、町長の考え方を伺いたい。

林町長

私が主導ということにはならないので、先輩首長にご指導頂き、是非やってみたく考えている。



▲中山峠物産館

令和7年度喜茂別町一般会計予算について

本久委員

町たばこ税はどのような仕組みで町税として計上されるのか。

菅原税務室長

卸売業者などが、毎月1日から末日までの間に売り渡したたばこに対して算出された税額を申告し、業者から町に納付されている。

本久委員

現在、LED街路灯の設置工事は工事請負費として予算計上されているが、総合計画に記載のある防犯カメラの設置については予算計上されていないように見受けられる。

防犯カメラ設置は現時点で検討中なのか、それとも令和7年度補正予算や令和8年度当初予算での対応を予定しているのか。

斉木住民課長

鈴川地区には令和6年度予算を活用して防犯カメラを設置した。

今後、新たに設置する箇所については、補正予算などで適宜対応していきたい。

林町長

令和6年度予算で集落センター玄関とホール、消防団車庫に防犯カメラを設置した。

今後は学校など他施設への対応も視野に、現在のカメラの効果を検証し、防犯対策を検討していく。

必要があれば補正予算での対応を考えており、令和7年度当初予算には防犯カメラの設置予定はない。

本久委員

情報化推進費について、前年度と比べて約6,000万円増加しているが、これはシステムの更新料などが主な要因という認識でよいのか。

井原まちづくり振興課長

ご指摘のとおりである。

本久委員

このシステムは他の市町村でも使用されているものなのか、また、更新料は市町村ごとに金額が決まっているのか。

井原まちづくり振興課長

本町を含め多くの町村で共通のシステムを導入しており、それぞれの自治体で予算計上して対応している。

本久委員

企画費について、前年度と比べて1,081万3千円減少しているが、その要因は何か。

井原まちづくり振興課長

地域おこし協力隊や募集委託料に関する経費が減ったことによるものである。

本久委員

物価等高騰対策事業費について、この事業では道支出金として1,329万7千円が計上されているが、この金額はどのような基準で決まるのか。

井原まちづくり振興課長

本町では、燃油や米など物価高騰の影響を受けている事業者への支援や、消費の下支えを目的とした住民への支援などをメニュー化し、それに基づき交付を受けている。

本久委員

統計調査費について、前年度は47万5千円だったが、本年度は312万5千円と約265万円増加しているが、要因は何か。

井原まちづくり振興課長

5年に一度の国勢調査の年であり、調査員報酬などの必要経費を計上した。

越後委員

町有地整備工事に352万円計上されている。舗装工事業業だったと思うが特に今でも、そこまで不便を感じてないと思う。

今やっている事業としては、結愛フェアとシーニックナイトぐらいのイメージしかないが、舗装するとなると何か町の方でも事業を考えているのか。

菊地総務課長

今まで未舗装だったことで、例えばベビーカーを押したり、ちょっと利用環境が悪いという声もいただいていた。

それに対応するためというのが1つと、今後は郷の駅を中心とした活性化をするにあたって駐車場も不足しており、今後多様な活用も見込めるので、舗装工事を実施する。

越後委員

購入後の鈴川駐在所の利用計画、そして喜茂別駐在所が1つになることによって、何人体制になるのか、そして新しい喜茂別駐在所はどこに建設するのか。

菊地総務課長

地域の皆様とも議論を深めながら、どのような利活用が望ましいか検討してまいりたい。

斉木住民課長

4月以降、喜茂別交番については3名体制による3交代24時間体制と倶知安警察署から伺っている。

林町長

本来、駐在型交番は4人体制で3交代24時間が基本である。

中山峠やルスツ等に駆り出された場合、色々な防犯対策が整えないので、私の方から4名体制で要望している。

場所については、国道沿いで流雪溝があるところ、もしくは道道沿いで流雪溝がいいところに新しく建てたいというのが北海道警察の要望である。

越後委員

子育て支援センター事業委託料が、大幅に減少しているが、どのような理由か伺いたい。

坂本元気応援課長

令和5年度までは、週3日の開設で社会福祉協議会に委託をして運営してきた。

令和6年度からは、週5日の開設とし、町

が直接運営する方式を取っている。

その際、3名が必要ではないかという見込みの中、会計年度任用職員2名を採用し、残り1名を社協に派遣していただいていた。

令和7年度においては、利用状況等を勘案した場合、スタッフ2名体制で運営が可能であろうという見通しの中、委託をしていた1名分減額ということになっている。

越後委員

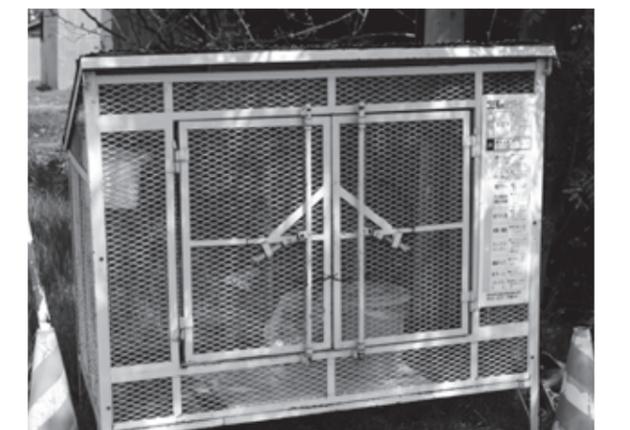
清掃費、修繕費200万円計上されているが、昨年より100万円増加している理由を伺いたい。

そして、ゴミステーションの修繕や塗装がどのような計画で行われているか伺いたい。

斉木住民課長

ゴミステーションの修繕として50万円、パッカー車などの修繕として50万円、合わせて100万円を予算計上しているが、7年度は、生ごみ堆肥化施設の土間コンクリート修繕費用として100万円を計上している。

ゴミステーションの塗装や修繕については、環境衛生委員や住民からの連絡により都度対応している。



▲ゴミステーション

越後委員

町内のゴミステーションを見て回るが、色が落ちて、サビがひどいゴミステーションもたくさんある。

取り替えるとかかなりの予算がかかると思うので、町でペンキ代を負担して町内会の方々に塗ってもらうことを検討していただきたい。

齊木住民課長

できる限り既存の予算の中で委員ご指摘の部分適切に対応してまいりたい。

越後委員

公園遊具等修繕工事が340万円計上されているがどこの公園の修繕工事か。

公園の遊具等は、どのぐらいの頻度で点検、補修しているのか。

秋山建設課長

町で管理している公園全ての遊具で、前年度に点検して翌年度に予算を計上して危険度が大きい順に修繕している。

修繕のサイクルについては、毎年度修繕と点検を合わせて実施している。

越後委員

青少年スポーツ文化育成助成金の内訳と、本町の義務教育課程の子どもたちに対するスポーツ支援はどこまでするという明確な決まりがあるのか伺いたい。

丸屋教育次長

規程に基づいて、中学校が全道全国に行く場合と、スポーツ少年団のチームに対して全道全国に出場する場合ということで200万円計上している。

足りなくなったらまた補正という形をお願いする。

越後委員

特別職の給料2,172万円計上されている。

現在副町長がいない状態で3名分計上されているが、どのようなことか伺いたい。

菊地総務課長

町長からは置かないということではなく、適任者がいればすぐにでも配置したいということは公言しているので、意思表示も込めて今回3名計上している。

阿部委員

町立クリニックについて、令和8年に指定管理の更新となるが、どのように考えておられるか。

2点目として、昨年6月の厚労省発表によ

ると、診察点数の下がる大幅な改正があり、経費の面でも、医療器具が高騰している。

一方で、クリニック指定管理料金については、昨年同様4,200万円となっている。

支援が必要不可欠と思うが、町長の考え方を伺いたい。

林町長

早急に、指定管理がいいのか、それとも将来的に、町職員として医師を雇ってやるのがいいのか、皆様方と議論交わしていきたい。

また、診療報酬が下がってきた関係では、物価高騰対応の創生臨時交付金1,300万円の中には、医療と福祉に対して支援するということが盛り込まれているので、町立クリニックに支援してまいりたい。



▲喜茂別町立クリニック

阿部委員

先日、喜茂別町地域公共交通検討委員会の会議があり、令和7年4月1日から令和7年9月末まで完全予約制の乗合デマンドタクシーの実証実験について議論したが、実証実験終了後いつ頃の運行を考えているのか。

井原まちづくり振興課長

地域活性化協議会で先日分科会を開催して、4月から9月末までと提案させていただいたが、長すぎるのではないかとということも踏まえ、4月を準備として、5月から7月ぐらいまでの3か月間で考えている。

阿部委員

町内外問わず障害者手帳をお持ちになっている方は無料で利用できること明記されている

が、デマンドタクシーは町民の税金で運用していることから、町外の方々の障害者の乗車は私は対象外だと思っているが、これについて伺いたい。

井原まちづくり振興課長

実証実験の状況を踏まえニーズとか、料金設定の部分も含め、再度協議会、分科会を開催して、改めて委員の皆様のご意見をいただきながら、どのような形が望ましいのか、判断してまいりたい。

阿部委員

財源について、以前国土交通省の生活交通維持補助金制度があると提案しているが、どのような国の補助金を考えておられるか。

井原まちづくり振興課長

様々な財源があるので、どのようなものが本町として可能な財源なのかを引き続き探ってまいりたい。



▲ウサバラ号

阿部委員

有害鳥獣処理施設について、農水省2,500万円の補助金、本町負担2,500万円、合計5千万円との説明があったが、本町の2,500万円の財源はどのように捻出されるのか。

大元農林課長

過疎対策事業債を予定している。

阿部委員

自衛隊の災害派遣には、救助に対してどのような部隊編成で活動されるのか。

花岡防災監

部隊の編成については、その災害の規模に応じて最大限派遣できる規模が派遣される。

岩部委員

災害対応について、自衛隊等の関係機関と連携した防災訓練を実施するとあるが、どのような訓練を行うのか。

花岡防災監

自衛隊車両を活用した緊急輸送訓練を考えている。

岩部委員

鈴川地区では、鈴川地区防災計画について、防災監より説明があった。

地区防災計画を策定していくにあたり、地区のくくりはどのようなものか。

花岡防災監

地区防災計画は、鈴川地区防災計画、第1次案を作成している。

鈴川町内会の意見をいただきながら作成していきたい。

地区のくくりについては、現在検討中なので、引き続き町内会等の意見を聞きながら進めていきたい。

林町長

本来であれば地区の方々が作る計画であるが、鈴川や双葉のように、人口が少なくなって何かあった場合に、地区だけで対応できないということで、町も手伝っている状況である。

どの道をどうやって物資を運ぶか地区の人に考えていただかなければならないということで、投げかけているので、その結果をもって、住民と一体となった計画を作っていくと考えている。

岩部委員

非常食、毛布、簡易ベッドなどの防災用品は町内会で購入するのか。

花岡防災監

町の予算で購入する。

岩部委員

こども家庭センターの設置に向けた検討とあるが、どのようなものか。

坂本元気応援課長

こども家庭センターとは、妊娠・出産・子育て全般に関する相談のほか、子どもの発達状態や児童虐待、貧困、ヤングケアラーなどに関するあらゆる問題に対して切れ目なく支援をする機関ということになっている。

令和6年4月施行の改正児童福祉法によって、母子保健機能と児童福祉機能が統合されたもので、設置については、努力義務とされているが、本町の子育て支援を推進していくにあたって、こども家庭センターの設置について、具体的に検討を進めていきたい。

岩部委員

執行方針に「農業について、国や道の補助制度を積極的に活用する」とあるが、どのようなものを考えているのか。

大元農林課長

農業次世代人材投資事業補助金、多面的機能支払交付金、農業経営基盤強化資金利子助成金など、国または道の補助制度を活用した補助事業を行っている。

その他、年度途中で国から発出される補助事業等については、農業者の皆様を紹介をして、要望があれば町を経由して要望していく。

岩部委員

昨年、地域計画の進捗やスケジュールについて質問したが、現在の状況について伺う。

大元農林課長

令和5年度は、まちづくり懇談会や令和6年2月から3月にかけて、策定の際に必ず実施しなければならない協議の場というものを実施して、農業者のご意見を伺ってきた。

令和6年度は、アンケート調査等を行い、地域計画を取りまとめている。

本町では4地区で計画を策定して、3月から関係機関からの意見も伺い、また3月12日から3月26日までの間、縦覧に供して、法律に基づいて4月1日から計画を施行するという流れで現在進めている。

岩部委員

デイサービス利用料金は、現在のものと、るすつ銀河の杜デイサービスセンターでは変わるのか。

坂本元気応援課長

基本サービスの利用料については、介護保険の報酬で決まっているので、その部分については変わらないが、喜茂別でなかったサービスがあるので若干増える。

合わせて食事の料金が、現状400円のところが550円ということで、1食あたり150円上がる。

岩部委員

利用料の差額は、町で補助できないものか。

坂本元気応援課長

現在利用されている方、家族も含め皆さんのところ全て説明に回らせていただいたが、利用料金が若干上がることについて、概ね了承をいただいた。

当初予算では、計上していないが、今後利用者の声を聞きながら、必要に応じて検討していきたい。



▲るすつ銀河の杜デイサービスセンター

岩部委員

執行方針に「廃棄物処理について、今までの3Rからリフューズ、リペアを加えた5Rの取り組みが求められている」とあるが、住民は具体的に何をどうすればいいのか。

斉木住民課長

これまでのゴミの減量、再使用、再資源化の3Rに、不必要なものを所有しない、修理の2つを加えた5Rの取り組みということで、そういう意識のところからゴミの減量に努めていくということである。

岩部委員

喜茂別PTA連合会補助金について、今までは6万円だったのが、令和7年度予算25万円となっているが、詳細を伺う。

丸屋教育次長

今年度本町で後志のPTA連合会の会議があり、その分、講師等金額が少し出てくるとい部分での補助をするということになる。

山下委員

環境衛生費の墓地検討委員会委員の報償費が、令和5年度の予算で計上されていたが、7年度は計上されていない。

総括質疑の答弁で7年度に、墓地検討委員会を開催する予定だという話だったが、補正予算で対応するのか。

斉木住民課長

補正予算の中で対応してまいりたい。

山下委員

墓地管理業務委託料は、墓地の調査をする予算か。

斉木住民課長

その通りである。

山下委員

ふるさと応援寄附金が、昨年より3倍多く計上されているが、なぜこれだけ増えたと分析しているのか。

井原まちづくり振興課長

中間委託事業者が変わり、積極的に返礼品の事業者にもコンタクトを取り、事業者もリニューアルなど、不断の積み重ねで着実に寄附額の増加につながっている。

さらにページのリニューアルなど、冬期間ヘリスキーのように高額な寄附金額がライン

ナップの中にあるので、総合的に6年度は期待以上に寄附いただいている。

山下委員

現在ポータルサイトは、いくつ利用しているのか。

井原まちづくり振興課長

ふるさとチョイス、ふるなび、Amazon、楽天など5つである。

山下委員

ふるさと応援寄附金強化支援補助金について6年度、どのような実績があったのか。

3月の補正予算で150万円減っていると記憶しているが、実際に使われたのは50万円程度という理解でよろしいか。

井原まちづくり振興課長

令和5年度は、2件ほど町内の事業者に計上して、サポートする団体として観光協会にも支出している。

令和6年度は、そういった事業者の声がなかったことで、補正で減額させていただいたが、令和7年度については、事業者の方々に対し予算の枠を措置している。

山下委員

健康診査受託事業収入について、昨年度は保健事業と介護予防を一緒に進めるのが効率的ということで大幅に増えたと記憶しているが、今年度は大幅に減っているのか、詳細について伺いたい。

坂本元気応援課長

令和6年度当初予算において、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施を進めるにあたり、北海道後期高齢者医療広域連合から受託事業収入ということで予算を計上していた。

しかし、事業実施自体を断念し、昨年12月の定例会の際に補正予算で、その事業予算を減額補正した。

令和7年度においては、地域活性化起業人制度で専門スタッフを町に派遣いただくということで、そちらで予算計上した。

山下委員

町長の交際費は5年前は40万円だったが、どんどん上がっており70万円になった。その理由を伺いたい。

菊地総務課長

活動実績などを踏まえ、これぐらいの予算規模が必要だということで判断した。

山下委員

工事請負費で光ケーブル新規増設工事40万円とあるが、詳細を伺いたい。

井原まちづくり振興課長

これまで光ケーブル接続してなかったところに新規としてみている。

山下委員

住民から要望があったから、新しく設置するという理解でよいか。

井原まちづくり振興課長

その通りである。

山下委員

地域おこし協力隊活動支援事業負担金の内訳を伺いたい。

井原まちづくり振興課長

地域おこし協力隊活動への日頃のサポート支援3団体に対して、サポート負担金としてそれぞれ支出している予算である。

山下委員

今月、1人の協力隊が4か月でやめることになり、本町の協力隊は卒業後の定着率が他の自治体とも比較しても低い状況で、きちんと支援事業できているのかなと思っているが、活動支援事業負担金の財源はどこにあるのか。

井原まちづくり振興課長

特別交付税である。

山下委員

協力隊OBも、卒業後収入が不安定でいなくなったりすることもあるみたいだが、今協

力隊OBの1事業者に任せているが、分散して支援事業とか募集業務を委託するという考えはないのか。

井原まちづくり振興課長

そういった意見もあるので、引き続き考えていく。

山下委員

老人福祉費の委託料が300万円ぐらい増えているが、その理由を伺いたい。

坂本元気応援課長

主な増額としては、配食サービス業務委託料になる。

令和6年度までは、喜茂別町商工会に委託し、食事の用意・配送、見守りをお願いしてやってきていただいたが、配達等にかかる人を用意するのが難しい状況もあり、ご相談をいただいていた。

令和7年度においては、商工会への委託をやめ、コープさっぽろの個別の見守り、配食サービスを利用し、配達は、愛和の里きもべつの利用者の活動支援の中で行っていただく。

山下委員

社会福祉協議会への補助金が増えているが、その理由を伺いたい。

坂本元気応援課長

本補助金については、職員人件費として、社会福祉協議会より毎年要望をいただいている。

これまで社会福祉協議会に対して、デイサービス事業を始め、様々な福祉事業の委託をしてきた。

その中で、人件費をはじめ運営費の工夫、努力をいただいていたが、この度のデイサービス事業など福祉事業の整理等も行い全体として、社会福祉協議会の収入が減る。

また、預貯金の水準等も下がってきているところから社会福祉協議会の安定的な運営に資するために、令和7年度においては、168万円増額させていただいた。

林町長

社会福祉協議会自体が、倒産の危機にある。

健全な経営していただきたいと思うところで、約160万円増額した。

山下委員

施設等利用給付金は昨年度なかったと思うが、内容について伺いたい。

小熊保育所長

喜茂別保育所ではなく、札幌市の幼稚園に入所したいという方がおり、無償化に伴って、幼稚園の施設、子育て支援給付、子どものための現金給付、子どものための教育保育給付及び子育てのための施設等利用負担を計上している。

山下委員

それは国か道か、どこから補助金が出て、それをを用いるという理解でよろしいか。

小熊保育所長

国と道から補助がいただける。

菊地委員

ゴミの分別について、最近、住民からきちんと分別していたのに集積されずに残され、理由がわからないという話を聞いている。

集積されなかった理由をメモ的なもので結構なので表示するように委託業者に指導することが可能かどうか伺いたい。

斉木住民課長

本町にも多く問い合わせが寄せられており、委託業者に収集できない理由を付したメモなどを貼付するよう指導する。

菊地委員

雪どけ後の町道の舗装を見ると、かなり傷んでいる箇所が見受けられるが、舗装修繕については、雪どけから相当経過してからの工事となっている。

交通の障害や事故につながることも予想されるので、毎年の修繕工事について、早期に実施することができないのか。



▲傷みのみられる町道

秋山建設課長

請負工事を実施しているが、発注時期は、どうしても一連の事務に1か月程度を要するので、入札においては、例年5月の連休前後の予定で進めている。

業者が決まると、多くの町村で、春先の舗装の修繕工事が立て込んでおり、作業が集中する。

アスファルトの調達、あるいは専用の機械、人員等も必要なので、時間がかかってしまい、実際の作業においては入札後さらに遅れる。

このような状況で時間的なズレが生じていることをご理解願いたい。

また、舗装修繕含め予防的ではあるが、交通量の多い道路においては、事前に、舗装の補修工事を全面的に実施しているので、ご理解願いたい。

小川委員

昨今の地域おこし協力隊は、それぞれ業務内容も様々で、中には飲食物を扱ったり、加工品を自分で売ったりして副収入が発生していると思うが、その上限額があるのか。

井原まちづくり振興課長

特段金額に上限があるということではなく、本業に支障にならないように兼業の届けを出して、その範囲で行っていただいている。

小川委員

協力隊員は今、それぞれ働く時間や休日が変わってきていると思うが、日報なり役場へスケジュールの報告は、今もされているのか。

井原まちづくり振興課長

それぞれの隊員において、時間や業務など定例の毎月のミーティングで報告し合って、町に毎月の分として月報、日報頂いている。

小川委員

配食サービスについて、委託料が増加することによって、利用される方々の個人負担と、配達料と一食の配食の単価の増減があれば伺いたい。

坂本元気応援課長

利用者の負担が、1食あたり400円徴収させていただいているが、昨今の物価高騰等により、令和7年度から500円に引き上げを予定している。



▲配食サービスの弁当

小川委員

夏まつり実行委員会の補助金150万円で昨年と同様だが、令和7年度に関しては、従来どおり観光協会が主体となって、夏まつり実行委員会を作って運営に当たるといった考えで良いか。

井原まちづくり振興課長

現状ではどこでやるとか考えていないが、関係団体と改めて相談させていただき、実行委員会立ち上げを含めて、早い段階での方向性を示す。

令和7年度喜茂別町国民健康保険特別会計予算について

阿部委員

国民健康保険基金が3,600万円あるが、基金があるのは、本町だけと聞いている。

この基金の目的は透析患者対応に使用すると聞いているが、令和12年度から全道で保険税の統一をされる。

今後の基金の取り扱いについては、一般財源に繰り入れにするのか、あるいは他に目的があつて残されるのか。

斉木住民課長

令和12年度に向けて、国保税・国保料の統一を目指すことが示されているが、統一後においても、目的を持った基金という形で残してまいりたい。

健康診断などの保健事業費などに使えるように、例えば、条例を改正するなど視野に入れ、適切に検討してまいりたい。

令和7年度喜茂別町簡易水道事業会計予算について

越後委員

今年は公営企業経営戦略改定支援業務委託料が新たに変わったが、どのような委託料か。

酒井公営企業室長

経営戦略とは、公営企業が将来にわたって安定的に事業を継続していくための投資財政計画が中心となる。

その計画の中には、投資財政計画及び組織の効率化、人材育成、広域化、PPP/PFI等の効率化、経営健全化の取り組み方針などを記載することとなっている。

平成29年度に策定しているが、令和7年度において改定する業務となっている。

令和7年度喜茂別町下水道事業会計予算について

越後委員

簡易水道事業と同様にアドバイザー業務委託料が計上されているが、合わせて660万円になる。

昨年の予算委員会で、660万円を支払うのであれば、簿記業務のできる職員を採用したらどうかという話をして、前町長に難しいと回答された記憶がある。

であれば職員が頑張つて勉強して、簿記手当などを月に20万円ぐらいつけたら、年間240万円になる。

それでも、年間アドバイザーに660万円払うのであれば、420万円浮く。

10年間これを続ければ、4,200万円削減になる。

この考え方についてどうお考えか。

林町長

これについては疑問に思っていた。

昨年今年と予算で認めたわけだが、8年度に向かっては、廃止する方向で頑張つて勉強するよう指示はしている。



寄付行為の禁止

議会議員は、選挙区内の方にお金や物を贈ることは、法律で禁止されています。

また、有権者が求めてもいけません。

ご理解をお願いいたします。



表紙写真を募集します。



あなたの写真が議会だよりの表紙になります。

詳しくは議会事務局まで

次の定例会は 6月18日を予定しております。

町民の方の傍聴をお待ちしております。

日程は、IP告知端末又は議会事務局
(TEL 33-2217) で確認ください。

総務常任委員会

2月4日

令和6年度末をもってデイサービス事業の社会福祉協議会への委託を廃止し、令和7年度よりすつ銀河の杜デイサービスセンターの利用を想定するとの説明あり

菊地委員

社会福祉協議会とはもう完全にできないという結論に至ったという理解でよろしいか。

坂本元気応援課長

委託料の増額約700万円程度を町として負担していただかなければ、運営をできないと回答いただいている。

菊地委員

利用者との間で、意見聴取はされているのか。

坂本元気応援課長

社会福祉協議会として利用者と話をしたということは聞いていないし、そのようなことはなかったのではないかと考えている。

菊地委員

利用者そっちのけでやってきたような感じを受けているから、料金の関係も含めて、スムーズにいくのか心配しているがどうか。

坂本元気応援課長

元気応援課としては、まだ未定の状況の中で、利用者にもいろいろお話をすることの方が混乱を招き、不安を一方的に煽ってしまうのではないかと考えて、事務的なところで委託者、受託者としての協議を進めてきた。

今後個別に説明をさせていただき、ご理解をいただいた中で、また様々なご相談に対応させていただきたいと考えている。

今後、デイサービスを利用できる体制を維持していかなければならないという観点の中から、これまでの経過も含め、利用者、またそのご家族の方に対して誠心誠意説明し、ご

理解いただけるように対応してまいりたい。

小川委員

現在、本町のデイサービスに携わっている職員で、中には本町でデイサービスが終わってしまうならこの仕事やめますという方もいるかもしれないが、職員の受け入れは留寿都でという話はあるのか。

坂本元気応援課長

希望があれば、受け入れていただけるよう、お話はさせてきていただいた。

小川委員

現在、ふれあい福祉センターで利用しているデイサービスに関する道具は、譲渡とか、そういう話はあるのか。

坂本元気応援課長

これから社会福祉協議会、溪仁会と交えて、調整を図ってまいりたい。

阿部委員

昔は社会福祉協議会もそれぞれ経営努力をしながら残高も1,000万円近く持っていたが、いつの間にかその残高がなくなっている。

町から多額の補助金をもらえないと運営ができない、いわゆる赤字経営をしている、これは会社で言ったら倒産と同じである。

そういうところもきちんと精査をしていく必要があると思う。

今後、どのような形で進めていくのか、町長の意見を聞きたい。

林町長

社会福祉協議会で8人採用している中で、歴代町長も改善して欲しいという話はずっとしていた。

蓋を開けてみると、私の記憶では社会福祉協議会の事務局長は500万円以内で予算を決めていたわけだが、650万円から670万円、他の職員についても、同じように人件費を上げ

ていっている。

役場職員と同じだけ期末勤勉手当も払って。

経営が良くなければ、期末勤勉手当は、カットしていかないといけない。

あくまでも町の補助金頼りで、役場職員並みにくれ、そういう話ではないと思っている。

ただ、デイサービスで700万円、本体で600万円、1,300万円の増額を要求してきている。

デイサービスをやめるといえるか、違うところを見つけないといけない、そして資金がショートするから、デイサービスでできた余力を持って、社協をもう一度持ち直させないといけない。

このままでいいたら社協自体が倒産する状況なので判断した。

山下委員

銀河の杜に変更することによって、そちらにも委託料支払うことになると思うが、もう金額とか決まっているのか。

坂本元気応援課長

それなりの費用負担も溪仁会としてはかかるということもあり、町としては、運営の支援という形で、ご負担をさせていただこうということ考えている。



▲るすつ銀河の杜デイサービスセンター視察

まだ、最終的な金額は、現在のところおよそ700万円程度でやっていただけるのではないかとこのところ、詰めさせていただいている。

越後委員

色々な話を聞くが、一方的に町が悪いという話で結構広がっている。

だからかなり詳しく経緯等を説明しないと、なかなか納得しない。

風呂もなくなるような話をしているが、どんな感じになっているのか。

坂本元気応援課長

いわゆる一般入浴、月・水・金と夕方やっている部分については、引き続き利用できるようにすることで考えている。

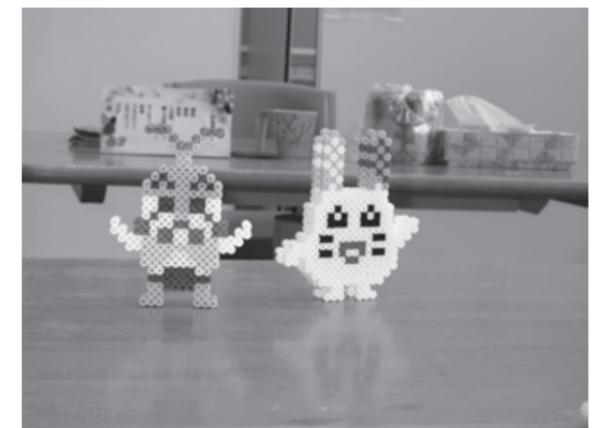
越後委員

この件に関しても完全にやめるといって広まっている。

だから説明不足というのがあから、必ず早急にやってもらわないと、話ばかり相当大きくなっている。

坂本元気応援課長

早急に、対応させていただきたい。



▲デイサービス利用者の作品

2月26日

第7次喜茂別町総合計画について説明あり

月	日	行 事	出席者	場 所
1	1 8	喜茂別町老人クラブ連合会 新年会	議 長	
2	4	総務常任委員会	全委員	
	12～13	後志町村議会議長会 定期総会・行政懇談会	議 長	札幌市
	18～20	議員研修	各議員	宮城県
	2 6	第1回臨時会	各議員	
		総務常任委員会	全委員	
		全員協議会	各議員	
2 7	後志広域連合議会 定例会	組合議員	倶知安町	
3	5	全員協議会	全議員	
		議会運営委員会	全委員	
	12～18	第1回定例会	全議員	
	1 4	喜茂別中学校 卒業証書授与式	全議員	
	1 8	予算特別委員会	全委員	
	2 0	喜茂別小学校 卒業証書授与式	全議員	
		鈴川小学校 卒業証書授与式	全議員	
	2 2	喜茂別保育所 第66回卒園式	各議員	
	2 3	後志自動車道（仁木～余市IC）開通記念式	議 長	仁木町
	2 4	羊蹄山麓環境衛生組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
		羊蹄山ろく消防組合議会 定例会	組合議員	倶知安町
	2 5	鈴川小学校修了式・閉校式	議 長	
	4	7	喜茂別小学校 入学式	全議員
喜茂別中学校 入学式			全議員	
8		第2回臨時会	全議員	
1 0		総務常任委員会	全委員	
1 9		喜茂別町老人クラブ連合会 総会	議 長	
5	7	後志総合開発期成会 定期総会	議 長	倶知安町
	8～9	議会広報編集委員会	全委員	



編集後記

今シーズンのニセコ、ルスツのスキー客は外国人の影響で、相変わらず絶好調とのことです。

近隣町村よりも出遅れていた本町の土地の価格も2023年から上がっています。

実に、22年ぶりとのことです。

空き家はどんどん宿泊施設に生まれかわっており、新しい施設も建てられています。

さらに、今回の議会だよりも記載がありますが、クレードルが6億円の設備投資をするとのことです。

ふるさと納税も凄い勢いで増えています。

本町の人口はついに1,900人を切るなど寂しい話題もありますが、最近では明るい話題も増えてきているように感じています。

昨年町長が変わり、今年度からは新しい副町長が決まり、新しい総合計画も発表され、これから新しい時代が始まる予感がしてなりません。

議会広報編集委員会委員長 山下 純